

メッセージ

「原水爆禁止2014年世界大会」をご開催される皆様方の平和を愛する心から、非核・平和に取り組まれている姿に対しまして、敬意を表する次第であります。

広島、長崎に原爆が投下されてから、間もなく69年目を迎えようとしておりますが、時の経過とともに人々からは、徐々に戦争の記憶も薄れ、また戦争を知らない世代も多数を占めてまいりました。

しかしながら、唯一の被爆国である我が国は、核兵器の悲惨さを語り続け、世界に核兵器の恐ろしさを発信し続ける責務を持ち、悲劇が二度と繰り返されることがないよう、「核兵器のない、戦争のない世界」の実現に向け努力し続ける必要があると考えております。

本市では、昭和58年に「非核平和都市」を宣言しており、平和な社会を実現するため、様々な平和啓発活動を広げていくための施策を推進してまいります。

結びに、原水爆禁止世界大会実行委員会のご活動の更なる充実と本日も臨席の皆様方のご多幸をお祈りいたしましてメッセージいたします。

2014年8月2日

門真市長 園部 一成